

法人運営の自律性確保へ向けて

テーマ別セミナー:主催 内閣府公益法人行政担当室

“公益法人の役員等の役割と責任”

平成26年11月20日(木)14:00~16:00

三田共用会議所 1階 講堂

内閣府公益認定等委員会委員 恵 小百合

1 公益・非営利セクターの存在意義

- 使命:公益セクターの活躍による周知と社会の変化
- 不特定多数の利益をもたらす活動による信頼構築:
例:「6分間のスピーチで世界を沈黙させた少女」
地球全体、自然の生存権を奪わない、現代と次世代の生存権を奪わない・・・倫理
- 納税者の納得する活動・支持による公益の発揮
- 傾聴に値し、共感出来、参加意義を感じ、動ける！

2 公益・非営利コミュニティをつくろう

- 1. 知の交流による社会知の構築(NCNB方式?!)
 - ▶ 公益セクターの法人同士の交流(理事役員対外研修)
 - ▶ 法人内組織メンバー間の交流(役職員スタッフ研修)
 - ▶ 公益セクターを取巻く市民、公共、営利セクター間連携
 - ◆ peer counseling
- 2. 参加動機は？
 - ▶ 誇り・伝えたい・自信・自慢ポイント・・・
 - ▶ 疑問・質問・知りたい・確認したい・・・
 - ▶ ‘お悩み事項’を解決したい・・・
 - ◆ 自己覚知: 自律的法人運営とは何か？

【参考】 NCNB+AGB⇒BoardSource

- National Center for Nonprofit Board ; 1988
- 全米の法人理事が1年に一度集まり、3泊4日で、現在の課題や経験、知りたいこと、知らせたいことをディスカッションする。
- 講師もカリキュラムもない。
- 参加者全員が先生であり生徒となり、全米の公益の向上について話した結果を持ち帰る。
- 政策提言、政府への要望があればまとめる。
- Association of Governing Boards of Universities & Colleges(1921~)の大学運営理事研修経験を生かして BoardSource : 501(C)(3)(1991,\$6million,25employees)へ

【参考】NCNB(1988年~25年間)の経験知 交流成果の還元という公益性の発揮

- 非営利活動団体理事役員の直接参加の場で交換された知見等をもとに法人運営における役員の責任と果たす役割等の評価法がまとめられている。

- 「非営利団体役員 の 10 の 基本的 な 責任」

https://www.nami.org/Content/NavigationMenu/NAMI_Center_for_Excellence/Tools_for_Excellence/TenBasicResponsibilitiesofNonprofitBoards.pdf

- 「理事役員 の 評価」

<http://www.nonprofitsteward.org/wp-content/uploads/2013/01/Executive-Director-Evaluation.pdf>

3 自律的な法人の姿

- 可視化による法人概要の確認
- 不特定多数の公益性発揮と公益事業展望

【自己覚知】

- 構成員の特徴(分布と動態)
- ミッション実現への道標(ダイナミズム)
- 資産(人・もの・金・情報)投入の現状と将来
- 財源の特徴(種類・割合と動態)
- 法人運営役員の役割(資源とスキルの強み)
- 人材確保と育成

理事・評議員等の役割・人材育成

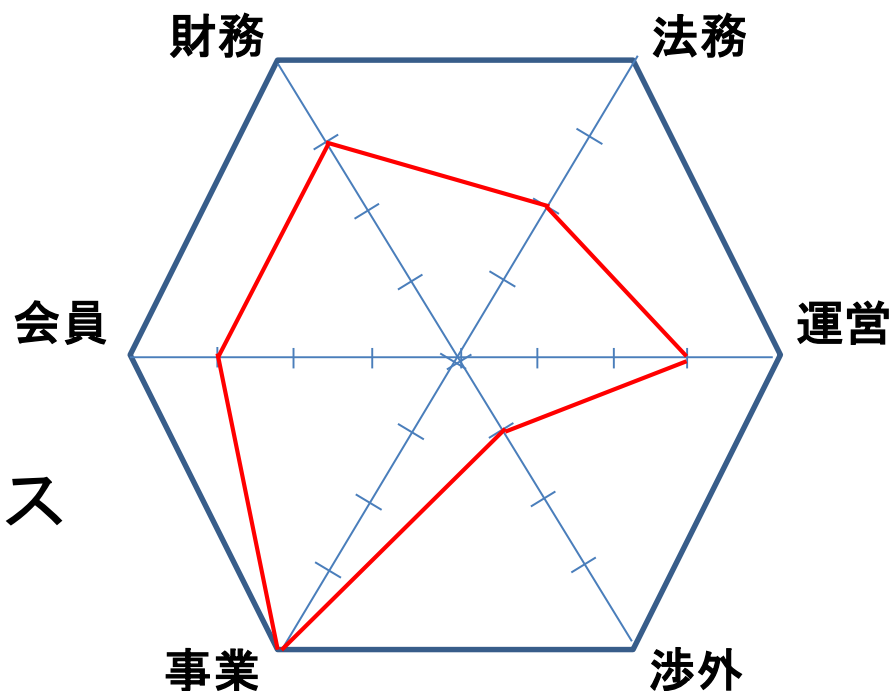
- 現在⇒〇〇年後
- 理事の役割分担

例) 代表理事: director

使命達成のリーダー、法人の顔、
PDCA: 事業の行程管理・公益性自己評価、
説明責任、技術的能力、経済的基盤維持、
次世代の育成、組織の維持、
組織メンバー倫理責任

理事: 財務・資金調達・会計
会員管理・会費・サービス
事業
渉外、広報、情報
事務・総務、報告
法務

- 人材資源とスキルレベルをチャートに表示!



- どのような人材像を描く?

「アリの眼」、「トリの眼」、「イルカの眼」

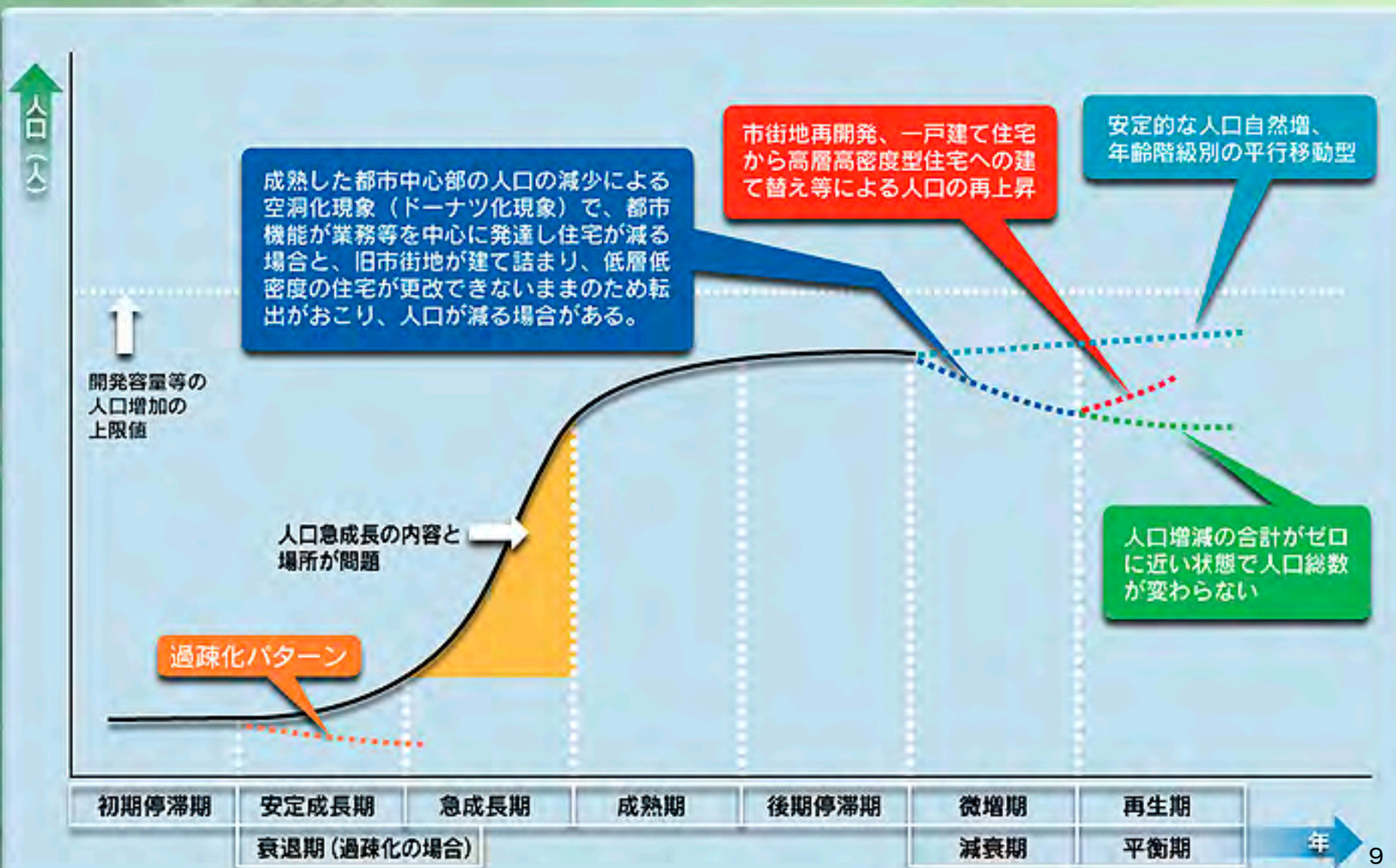
空間軸で法人を
観る眼

- 目というより、眼（まなざし）
- 見るというより、観る、診る、看る
- 「アリの眼」
- 「トリの眼」
- 「イルカの眼」
- 「環境を観る眼」



人口で都市成長段階をみる

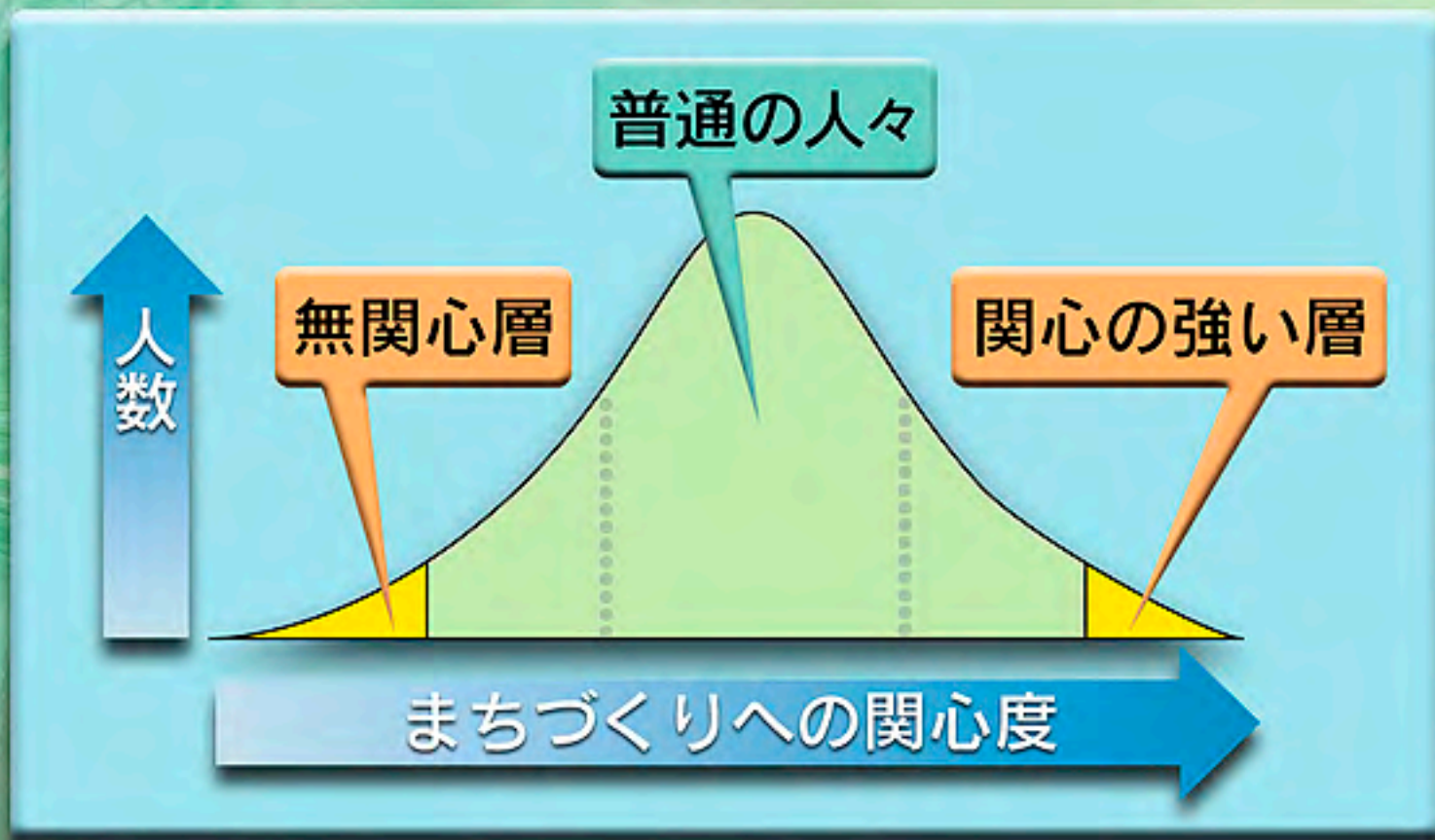
時間軸で法人を 観る眼



多様な主体で構成される

法人関係者(役職員・会員等)と公益発揮対象者を観る眼

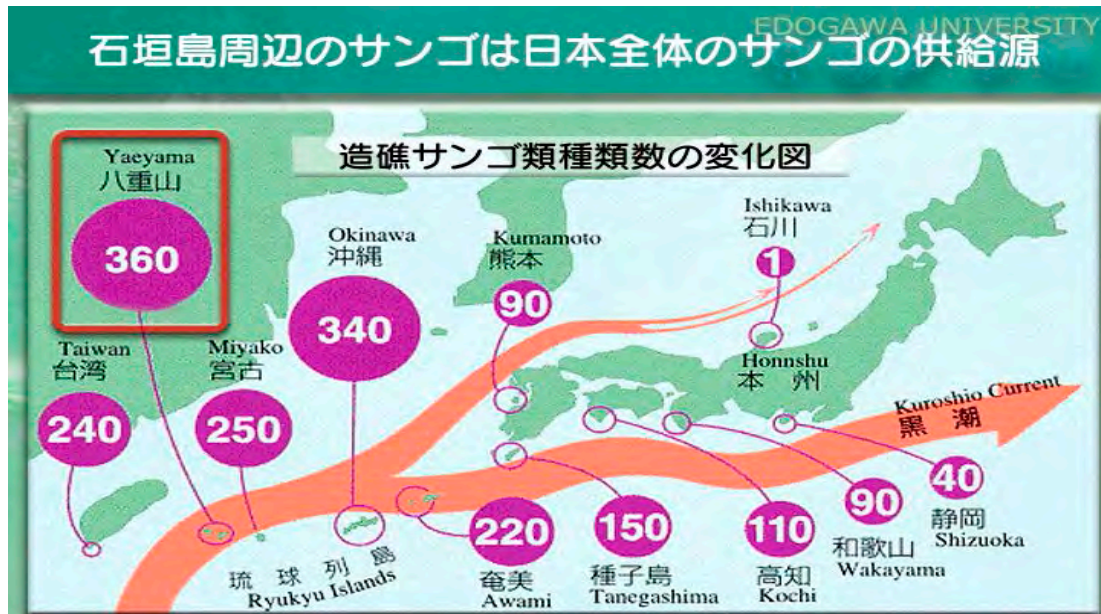
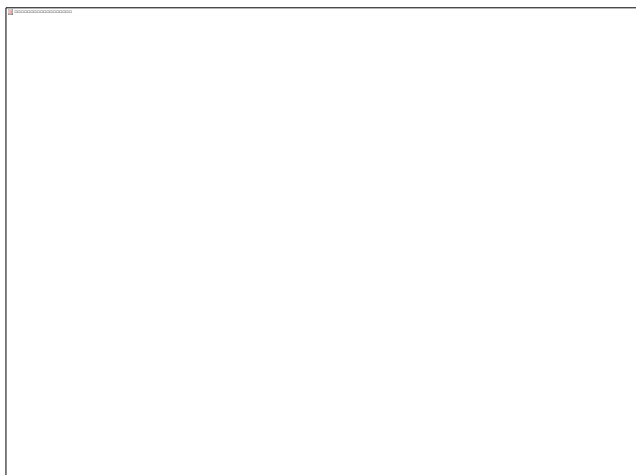
例：まちづくりへの関心度



【参考】WIN-WINの関係を構築しよう！

石西礁湖を海の源流とするサンゴ礁海流域ネットワークへ

八重山：石垣島と西表島の間
のサンゴ礁の海：石西礁湖



資料：環境省

海の源流を保全しよう！

サンゴ（動物）は
褐虫藻（植物）と
共生！



Ms. Severn Suzuki 伝説のスピーチ(抄)

1992年にブラジルのリオ・デジャネイロで開催された地球サミット(国連環境会議)には、GO以外に、初めてたくさんのNGOや市民、団体が参加しました。

- その中に、こつこつお金を貯めてカナダからやってきた子どものグループECO : Environmental Children's Organizationのリーダーで当時12歳のセバーン・スズキという少女が国連環境会議の場で世界各国・地域から参加している首脳や代表者の前で、伝説の6分間のスピーチを行いました。現在の環境状態にしてきた大人たちへの真摯な質問は、多くの人々の心を打ちました。

- セバーン・スズキは、「未来を失うことは、選挙で負けたり、株で損をするのとは訳が違います。私がここに立って話をしているのは、未来に生きる子どもたちのため、世界中の飢えに苦しむ子どもたちのため、そこにもう行く場所がなくなり死に絶えようとしている無数の動物たちのためです。

Q:あなたがた大人は、子どものころ、こんな心配をしたことがありますか？

Q:こんな大変なことが起こっているのに、大人は、何か解決策があると思っているのですか？・・・死んだ川にどうやって魚を呼び戻すのか？

大人も知らない？

どう治すのかわからないものを壊し続けるのをやめてください。

全てを持つ人が欲張り、分かち合わないのをやめてください。

争わずに他人を尊重すること。

戦争のお金を貧しさの解消と環境に使ってください。このことは、あなたたち大人がわたしたち子どもに言い続けてきたことです。・・・」

20年後The U.N. Environment Programme's Global 500 Award in Beijingを受賞。

4『〇〇未来をつくろう』

▶現在⇒〇〇年後の社会と貴法人の役割は？（行程を示す）

- ◆使命・目的の社会における必要性・意義
 - ◆使命を達成するための公益事業・収益事業
 - ◆会員、賛同者、支持者の信頼確保
 - ◆事業を実施し法人を維持するための組織運営体制
 - ◆体制を構成する人材育成
 - ◆事業を実施し法人を運営するための財政規模
 - ◆財政を支える財源の種類と規模、確保方策
 - ◆法人の信頼を得るための倫理とアカウンタビリティ
 - ◆法人の魅力を伝えるための情報公開、広報
 - ◆公益性の発揮
 - ◆公益・非営利セクターが社会で果たす役割
- ⇒どのような社会？